

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	利用者と職員が一緒に、同じ食事を摂り、美味しさと楽しさを共有することが望ましい。食事の時間も、ケアの一環としての位置づけとなるよう期待をしたい。	・同じ食事を摂りながら。美味しさと楽しさを共有する。 ・食事もケアの一環であることを意識できる。	今まで職員だけであった検食をパート職員も実施することで、全職員が利用者との食事の時間と楽しさを共有できるようにする。	1 か月
2	10	グループホームは在宅の延長線にあることを踏まえ、介護計画や見直しの際は、本人と家族を交えた担当者会議の開催が望ましい。	本人と家族、ケアマネ、その他の職員参加の担当者会議の開催	本人と家族、ケアマネ、その他の職員が関わった担当者会議の開催をしていく。	12 か月
3	3	運営推進会議は法人3部門合同で行っている。グループホームの主体性や独自性が確保できるような、会議運営にも期待をしたい。	グループホーム単独の会議の開催	大きな行事に合わせて、会議を開催する。	6 か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。